



市長と語る会

市長 お話の通りで、私も部長職が全員男性職員であるのは寂しい気がします。現在、女性職員の課

意見
○男女共同参画社会の中で、市幹部職員へ女性職員の登用も行われているが、現在は部長職の中に女性職員がひとりもなく寂しい思いがする。部長職には相応のふさわしい職員を配置する必要があるのはわかるが、安曇野市の中には大勢の女性職員がおり、また、若い女性職員の励みにもなるので、ぜひ近いうちに女性職員の中から部長職への登用をお願いしたい。

市本庁舎の建設

意見
○本庁舎建設は市民からの要望という訳ではない。
○市の中心地で立地条件の良い所へ建設するべきだ。

○財政運営が厳しい時期に、これ以上将来へ負担を残すことは問題。既存施設を有効活用する中、市民の声を反映して欲しい。
○現在の市本庁舎、各総合支所は、次々と建て替えの時期を迎える。また、現在のままでは無駄な経費が多い。合併特例債も期限がある。早急に建設を考えるべきだ。

市長 合併協議の際、本庁舎の建設は市になってから検討すること



になっていました。現在は、公募の皆さんを含めた本庁舎等建設審議会で、既存の施設、保有地も含めさまざまな選択肢を比較検討してもらっています。現在の分庁方式のままでは良いとは思っていません。既存施設の利用について、施設の現状を把握し、無駄な投資は避けたいと思います。建設する場合には、もちろん財政状況を見ながら、計画的に行います。借金は世代間負担の考えがあります。長期的に考えます。

市の財政状況

意見
○広報10月号に平成19年度決算が掲載されていたが、安曇野市の財政運営について疑問がある。
①起債を借入れながらの財政運営であるが、将来、財政を圧迫することにならないか。
②本庁舎建設については合併特例債を活用することになるが、合併特例債の返済にともない、市民の負担が増えるのか明らかにしていただきたい。

長も多く、優秀な職員もいます。ここ数年のうちに女性職員の中から部長職が出てくるのではないかと予感しています。部長職が男性職員でなければいけないとは思っていません。能力のある職員をどんどん登用していきたいと考えています。

農業・食の安全

意見
○肥料、飼料、資材の高騰が農業経営に追い打ちをかけ、現在農業は大変厳しい経営状況にある。安曇野市は農業を基幹産業としているが、今後、市で農業を継続していく人のため、どのような施策を考えているのか。
○昨年から食の偽造発覚や最近の汚染米問題等、食の安全に関する関心が高まっている。特に学校給食には、安全で安心な地元農産物を使用してもらいたいと考えているが、安曇野市ではどのくらい学校給食に地元農産物を使用しているのか伺いたい。

市長 ①行政では1年間に入るべきお金を見込み、1年間に必要な事業がどれ位あるか精査し予算を組みます。家庭に例えると、家を建てる等の場合、銀行からお金を借りる事になるが、行政ではこのお金を起債と呼び、歳入予算に入れて、借金の返済については公債費として歳出予算に入れます。現在返済している借金の多くは合併前の旧5町村のもので、市となつてからの借金はわずかです。家計と同じで、払える範囲内で借金をするのが原則であり、一番避けなければいけないのは、返済能力がないのに借金をし、将来に負担を残すような状況になってしまふことです。10年、20年先を見通すことが大事です。

②本庁舎建設については、規模や場所も決まっています。規模や費用が正確にはわかりませんが、自主財源、基金、合併特例債などにより、国の支援策を活用していくので、将来の負担は軽減されます。建設せずに今の庁舎を維持し修繕していくことになると、余分なお金が出て行くことになるかと考えています。

市長 先日農協の皆さんと一緒に東京の太田市場、築地市場に行き、三郷のリンゴのトップセールスを行ってきました。また、銀座のデパートなどに寄り、販売者側と話す機会がありました。大手百貨店やスーパーは、現在のような経済状況では、安い価格でないと消費者に購入してもらえず、リンゴの価格に農業資材の高騰分を反映できていません。これは非常に難しい問題であると痛感しています。農業は安曇野市の基幹産業であり、土地利用制度についてはこれから条例の内容を決めていくことになるが、農業者に農業を放棄しないで続けてもらえるよう施策を検討しています。これまでも転



少子化対策

意見
○市の人口増加が足踏み状態です。他県では出生率を上げるため、第3子出生を優遇する施策を行っている自治体もあるが、市はどのような対応を行っているか。

市長 人口増加については、外国人の人口が景気低迷の影響を受けていて、それが響いていると思います。少子化対策については、働きやすい環境を整えるため、保育園の施設整備を進め、きめ細やかな要求に応えられるように努めています。今後も有効な施策については取り組んでいきたいと思っています。

幹線道路の整備

意見
○147号バイパスの先線を、国営アルプス安曇野公園と須砂渡へつながるようにして欲しい。ただし、道路周辺には店舗等が乱立することなく車が通過できるように規制もお願いしたい。

市長 東西線はすっきりした道がなく、市の街路計画について研究・検討をしています。また、線引きが外れて調整区域になつても、なんでもできるわけではありません。総論賛成・各論反対、個人の土地でもむずかしい問題もありますが、話し合いながら同意を得て参ります。